

環境総合研究所講座

開催日時	講 師	テーマ・内 容
第23回 10/ 3 (土) 14:30~16:00	古谷 スミ子 (本学教授・看護師・上級 心理臨床カウンセラー)	「よりよい看護をうけるために ー看護師の立場と患者の立場からー」 看護は、その人の体と心と生活を見つめ、その人らしい生き方を支える仕事です。健康や安楽な生活をとり戻すときこそ、これまでの生き方を活用するときです。自分の持つ回復力を発揮するために看護師に生き方のこだわりを教えてください。
第24回 5/30 (土) 14:30~16:00	市川 隆司 (本学准教授)	「これから始める家庭での携帯電話の活用」 携帯電話は上手に活用すれば、日常生活を便利にする道具となります。一方で子どもたちの携帯電話利用は、社会問題化し、大きな影を落としています。春は携帯電話を新たに購入されたり買い換えの多い季節。親と子の両者の立場から上手な活用を考えます。
第25回 6/ 6 (土) 14:30~16:00	大熊 章夫 (大阪市城東区保健福祉 センター 福祉担当課長 代理)	「介護福祉制度の現状と展望」 介護保険・障害者自立支援法が施行され、お年寄り、障害のある方の暮らしが大きく変わりました。また福祉の現場で働く人たちも制度の波にほんろうされている現状があります。これからの福祉の展望と課題をお話します。
第26回 11/21 (土) 13:30~17:00	コーディネーター 寺田裕美子 HTR (アメリカ園芸療法協 会認定 正園芸療法士)  話題提供者 ① 坂口義弘さん (大阪府認知症の 人と家族の会 副代表)  ② 梅林秀行さん (京都 ARU)  ③ 浦田雅子さん (千里リハビリテーシ ョン病院 園芸療法士)  ④ 丸毛則子さん (宇治おうばく病院 看護師)	「園芸療法、園芸福祉、 求められているニーズをもう一度見直そう！」 【1部】13:30-16:10 話題提供 ① 認知症の妻を支えて 妻が認知症であると告げられてから15年に渡る在宅介護生活についてお話いただき、長期化、高齢化、重度化する在宅介護のニーズについて考える。 ② ひきこもり支援としての農園芸を通して 自身のひきこもり体験から現在心の葛藤を繰り返す若者の支援を開始する。「心の汗をかきたい」と広々とした田園での草刈りなど障害者施設のサポートを通じて、そこから見えてきたものとは。本人が本当に必要としている支援とはどのようなものなのか？若者たちの目線を通してそのニーズについて考える。 ③ 回復期リハビリテーション病院での園芸療法 これまで置き去りにされがちだった精神的なケアもできる病院をつくりたいという思いから園芸療法をはじめ、様々なセラピープログラムを導入、1日3時間以上のリハビリテーションを実施する。2007年にオープンした新たなニーズを取り入れた病院での実践から学ぶ。 ④ 利用者様とのかかわりの中で 看護師として勤務の半分を介護療養型病棟、重度認知症デイケア、精神科デイケアに従事する。その中で、植物好きがこうじて利用者様と共に農園芸活動に関わった思いとは、また、知的障害を持つ息子さんと共に園芸ボランティア活動を行う中で感じる家族や社会とのニーズについて学ぶ。 【2部】16:20-17:00 討論会 「園芸療法・園芸福祉、本人が期待するもの、 家族が期待するもの、社会の要望とは!？」

児童教育研究所講座

開催日時	講 師	テーマ・内 容
第12回 6/20(土) 14:30~16:00	中村 時雄 (前本学非常勤講師、元豊 中市教育委員会学校教育 部長、元豊中市小学校長)	「子どもの学力向上と子どもへの親のかかわり」 小学校ではこの4月から授業時間が増え、補充教材が組み込まれています。いわゆる“ゆとり教育路線”を転換し、低学力の克服をめざそうとしています。「学力」とは一体何か。子どもたちの将来と学力はどうなるのか。親はどう取り組めばよいのか等を共に考えてみましょう。

阪神奈大学・研究機関生涯学習ネット 公開講座フェスタ2009

開催日時	講 師	テーマ・内 容
11/14(土) 10:30~12:00	長尾 尚 (本学准教授)	「今どきの大学の授業—考えて表現する力を養う—」 4年生大学で教師をめざす学生対象の「教育方法・技術論」の実践を紹介。専門知識の注入以上に考える力や表現する技術を養成し、ネットを補完として活用し、他の学習者と関わる学習環境の構築が主体的学びを促進する。